

《校訓》 自主自律

《学校教育目標》「志を持ち、学び合い、高め合う」生徒



# 群 青

小山中学校だより  
第 11 号 H29. 3. 16

## 「感謝」をつなげる 3 月

3 月は別れの季節であるとともに、3 年生から在校生へ、お世話になった方々へ、在校生から 3 年生へ、「感謝」をつなげる季節でもあります。小山中学校においてもさまざまな活動が行われました。

### 《三年生を送る会》

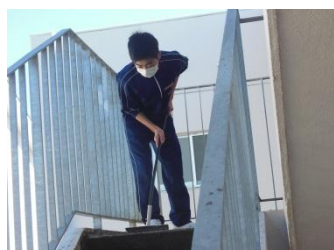


小山中学校の大黒柱として学校をリードしてきた 3 年生に感謝の気持ちを伝える「三年生を送る会」が開催されました。生徒会の引き継ぎや合唱の交換が行われました。1・2 年生が練習を重ねた合唱を聞いて、3 年生は安心して小山中学校を卒業できると感じたようです。翌日の 3 年生のスタディープランの日記欄には

「素晴らしい合唱をありがとう」「小山中学校をまかせたぞ」といった感謝の言葉がたくさん寄せられていました。



### 《卒業奉仕活動》



3 年生は、母校への感謝を奉仕活動で表現しました。普段なかなかできない場所のそうじや、修理、畑の手入れ、ぞうきん縫いなどを熱心に行いました。また、成美・明倫・足柄小学校を訪問し、同様の奉仕活動や小学生との交流などを行いました。

「本当によく働いてくれた」と訪問先の先生方からも感謝の言葉を頂きました。



### 《給食感謝の会》



ランチルームでは、給食員の皆さんに感謝する会が開催されました。小山中学校のおいしい給食を作ってくださいる給食員の方々に生徒代表がお礼の言葉を伝えました。心も体も急激に成長する中学時代を、栄養の面で支える学校給食の重要性を、3 年生である代表生徒は十分に理解し、それを感謝の言葉で表現していました。



保護者の皆様、地域の皆様には、今年度一年間、小山中学校の教育活動に多大な御支援をたまわり、感謝を申し上げます。3 月 17 日（金）には、平成 28 年度卒業証書授与式が挙行されます。卒業生はやがて地域の一員として皆様の仲間入りをします。これからも温かな御指導をお願いいたします。

## 駅伝競技東部大会・県大会への御支援ありがとうございました

平成 23・24 年度の全国大会、東部・県駅伝大会出場経費に対し、小山中学校区の皆様をはじめとして、多くの事業所、団体、個人の皆様から多大な御支援をいただきました。それを「駅伝会計」として大切にに使わせていただいています。平成 28 年度も県入賞を目指して練習に励んできました。東部駅伝大会では男子 7 位、女子 15 位という結果でした。

男子は県大会で上位を目指してタスキをつなぎました。入賞は逃しましたが来年度への課題をつかむことができた大会でした。これも皆様の御支援があつてのことです。ありがとうございました。（※年度末にあたり、本年度の駅伝会計報告をいたします。）

平成28年度 小山中 全国中学駅伝大会 小山町実行委員会会計 決算報告書				
	収入総額	2,196,348	円	
	支出総額	325,543	円	
	差引残額	1,870,805	円	
<b>収入内訳</b>				
項 目	本年度予算額	決 算 額	増 減	備 考
1 交 付 金	0	0	0	
2 負 担 金	0	0	0	
3 支 援 金	0	0	0	
4 雑 収 入	377	25	△ 352	貯金利息
5 繰 越 金	2,196,323	2,196,323	0	平成27年度より
合 計	2,196,700	2,196,348	△ 352	
<b>支出内訳</b>				
項 目	本年度予算額	決 算 額	残 額	備 考
1 事 務 費	190,000	0	190,000	
2 選手派遣費	1,696,700	325,543	1,371,157	大会交通費、宿泊費 等
3 応 援 費	300,000	0	300,000	
4 予 備 費	10,000	0	10,000	
合 計	2,196,700	325,543	1,871,157	
※ 項目間の流用を認める				
上記の通り報告いたします。				
なお、残金の使途につきましては、町教育委員会の指導の下で、小山中学校 駅伝部の活動に有効に活用させていただきます。				
平成29年3月31日				
小山中 全国中学駅伝大会 小山町実行委員会委員長 鈴木 幸				



## 子育てコラム⑥ 社会の中でまっとうに生きる

明日、小山中学校では第70回卒業証書授与式が行われ、たくましく成長した3年生が義務教育を修了し、それぞれの進路に巣立っていきます。

「自立」とは、「変化の激しい世の中をまっとうに生きていく力を身につけた状態」と言えます。わたしたち大人の「子育て・教育」の目標もそこにあるのですが、中学時代の子育ての難しさの一つは、子どもを思うようにコントロールできなくなる、という点にあります。親や教師などの身近な大人が示してくれた価値観をいったん疑い、失敗・寄り道・チャレンジ・成功などを繰り返しながら、子どもは実感を伴った自信（生きる力）を手にしていくからです。

自立へのあこがれとともに、多くの不安を抱えている時期でもあります。わたしたちは、子どもの成長する力を信頼して見守りつつ、認め、褒（ほ）め、励まし、時に本気で叱る、そんな、（まあまあ）まっとうな大人として生きていくことが、何よりの子育てなのかもしれません。

最後に、歌人 佐佐木 幸綱（ささき ゆきつな）の次の短歌を紹介します。自転車の練習をする子を見守り励ます大人の姿です。

のぼり坂のペダルを踏みつつ子は叫ぶ「まっすぐ?」、そうだ、どんどんのぼれ

佐佐木幸綱